

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
51211	(上水)施設更新・改良事業(経営管理課分)	公営企業局	経営管理課	2
51212	(工水)地図情報・図面管理等	公営企業局	経営管理課	3
53331	(上水)石手川ダム水源保全対策事業	公営企業局	経営管理課	4
59999	上野処理区汚水処理委託事業	公営企業局	経営管理課	5
62231	(上水)建設改良基金	公営企業局	経営管理課	6
62231	(工水)建設改良基金	公営企業局	経営管理課	7
69999	(上水)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	8
69999	(簡水・中島)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	9
69999	(工水)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	10
69999	(上水)財産管理	公営企業局	経営管理課	11
69999	(簡水・中島)財産管理	公営企業局	経営管理課	12
69999	(簡水・北条)財産管理	公営企業局	経営管理課	13
69999	(工水)財産管理	公営企業局	経営管理課	14
69999	(上水)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	15
69999	(簡水・中島)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	16
69999	(簡水・北条)その他の支出(他会計借入金元金等)	公営企業局	経営管理課	17
69999	(工水)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	18

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財産管理担当	連絡先	998-9823	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	松本 和彦	担当	金岡 大介	林 泰男

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)施設更新・改良事業(経営管理課分)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
51211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	水道ビジョンまつやま2019				
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の建設改良						
目的・背景	水道施設の再構築に必要な用地が現有地では確保できないため、新たな用地の購入が必要になった。老朽化した水道施設の再構築を検討し、適正な施設更新のための用地を確保することで、水道事業の健全な運営に寄与することを目的とする。						
対象・内容	上水道施設:水道施設の再構築を実施するうえで必要な水道施設の更新用地を確保する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	水道建設改良費	目	浄水施設費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	市之井手浄水場の更新に伴う用地買収		14,149
予算(千円)	事業費計	42,693	393,460	389,910					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	42,693	393,460	389,910					
決算(千円)	事業費計	33,300	14,595			主な取組内容【R4】	市之井手浄水場の更新に伴う用地買収 取水堰の改良・更新に伴う用地買収		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	33,300	14,595						
人役	正規職員	0.3	0.7	0.7		特記事項	令和4年度は地権者から事業の同意を得るのに時間を要したため執行率が低くなっている。		
	その他								
	合計	0.3	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	該当地権者との用地交渉	目標	-	-	3	4	測量等の調査が終わり、令和5年度から地権者と交渉ができるようになった。		
		実績	-	0					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	地権者から事業の同意を得るのに時間を要したが、水道施設の更新用地の確保に向けて順調に進捗管理が行えているため。							
課題	地権者に事業の同意や用地買収の交渉を行うための連絡・接触到時間を要する。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	水道施設の更新用地を確保するため、引き続き、地権者と用地買収の交渉を行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財産管理担当	連絡先	998-9823	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	松本 和彦	担当	金岡 大介	林 泰男

1.事業概要【Plan】

事業名	(工水)地図情報・図面管理等	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51212		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	松山市公営企業局固定資産管理規程				
政策	快適な生活基盤をつくる						
施策	上水道等の整備						
主な取組	上水道等の建設・維持						
取組みの柱	施設の維持管理等						
目的・背景	公営企業局では莫大な量の水道施設や用地等を管理していることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため、水道施設台帳による財産管理を導入した。松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、公営企業用地の登記関係の文書・図面・写真等の記録と管理を適正に行うことを目的としている。						
対象・内容	企業局が所有している工業用水道用地 水道施設台帳の保守委託 委託先:コンピューターシステム(株)						

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	総係費
		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	18	18	17		主な経費 (千円) 【R4 決算】	水道施設台帳の整備・維持管理委託		15
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	18	18	17					
決算 (千円)	事業費計	17	15			主な取組 内容 【R4】	水道施設台帳の整備・維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	17	15						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	公営企業局用地の登記関係 の文書・図面・写真等に係る 入力	目標	-	-	1	1	-		
		実績	-	1					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	登記があったものについては適切に処理できたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	登記関係の文書・図面・写真等の記録と管理を適正に行うため、引き続き、効率的な財産管理を行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9836	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	二宮 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名	(上水)石手川ダム水源保全対策事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
53331		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	根拠法令	松山市水源の森基金条例、石手川ダム水質保全協議会規約				
政策	豊かな自然と共生する		—	—	—	—	
施策	節水型都市づくりの推進						
主な取組	水資源の保全						
取組みの柱	水源かん養の推進						
目的・背景	開発が予想される山林を先行して取得すれば開発を抑制することができること、また、森林整備をすることによって水源地域の環境を保護し、保水機能を高めることによって、質・量の両面から水源保全を図ることができると考え、この事業を開始した。水源林の取得及び整備を行い、水源かん養機能を高めるとともに、石手川ダム等の水道水源の保全及び水質の保全を図ることを目的としている。						
対象・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>松山市水源の森基金への負担金 水源かん養機能を高めるため水源林の取得及び整備事業を積極的に行うことを目的として設置された「松山市水源の森基金」へ負担金を交付する。</li> <li>石手川ダム水質保全協議会 石手川ダムの水質保全を図るため、関係機関相互の連絡を密にし、水質汚濁防止対策等の推進を円滑にする。</li> <li>その他の石手川ダム水源保全対策 石手川ダム等、水道水源の保全を目的として、石手川上流域の住民へ、し尿処理手数料に対する補助金を交付する。</li> </ol>						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用	項	営業費用	目	総係費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	32,978	33,102	33,987		主な経費 (千円) 【R4 決算】	松山市水源の森基金への負担金		20,001
	国費・県費						その他の石手川ダム水源保全対策にかかる経費		3,531
	市債						石手川ダム水質保全協議会への補助金		2,363
	その他								
	一般財源	32,978	33,102	33,987					
決算 (千円)	事業費計	22,030	25,895			主な取組 内容 【R4】	・石手川ダム水質保全協議会への補助金、 松山市水源の森基金への負担金の支払い ・石手川や水源地域の河川美化活動		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	22,030	25,895						
人役	正規職員	0.5	0.6	0.7		特記 事項			
	その他								
	合計	0.5	0.6	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	補助内容等の精査	目標	-	-	1	1	—	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり実施し、水道水源の保全等を図ることができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	水源の保全のため、補助金等の交付や水質保全協議会での活動を滞りなく行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9846	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	渡部 祐平	

1.事業概要【Plan】

事業名	上野処理区汚水処理委託事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	2:委託	
59999								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他			-	-	-	-	
施策	その他							
主な取組	その他		根拠法令	地方自治法第244条3、第252条の14				
取組みの柱	その他							
目的・背景	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、行政区域を越えて汚水処理を行うこととなった。都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的としている。							
対象・内容	「砥部町と松山市との汚水処理に係る事務の委託に関する協定書」に基づき、松山市で受領した上野処理区の下水道使用料を、当該地区の汚水処理に係る費用(維持管理・資本費)で按分し、砥部町へ支払う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	総係費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	4,152	3,801	3,800		主な経費 (千円) 【R4 決算】	上野処理区の汚水処理にかかる委託料		3,884
	国費・県費						上野処理区の汚水処理にかかる負担金		47
	市債								
	その他								
	一般財源	4,152	3,801	3,800					
決算 (千円)	事業費計	4,013	3,931			主な取組内容 【R4】	砥部町への委託料及び負担金の支払い		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,013	3,931						
人役	正規職員	0.0	0.0	0.0		特記事項	汚水処理経費の増加により、決算額が予算額を上回った。		
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	負担内容等の精査	目標	-	-	1	1	-	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおりの支払いを行い、公衆衛生の向上に寄与したため。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	砥部町への委託料及び負担金の支払いを滞りなく行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9836	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	二宮 優子	

1.事業概要【Plan】

事業名 62231	(上水)建設改良基金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	7:その他	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地方分権社会を推進する		-	-	-	-	
施策	効率的な行財政運営の推進						
主な取組	健全な財政運営	根拠法令	松山市水道事業建設改良基金条例、水道ビジョンまつやま2019				
取組みの柱	持続可能な財政運営の維持						
目的・背景	水道施設の更新といった再投資は、新たな収益には繋がらないため、その財源についても将来世代に負担を先送りする企業債(借金)に依存するべきではなく、今の世代が享受している水道施設の機能を、次世代へ引き継ぐ義務があり、そのための資金を調達すべく基金を設置した。水道施設の更新に係る世代間の負担の公平を図ることを目的としている。						
対象・内容	近い将来全面リニューアルの時期を迎える市之井手、竹原、垣生の3つの浄水場の再構築にかかる事業費の財源として、平成24年度からの20年間で、所要事業費の8割程度(約140億円)を基金へ積み立てる。 ・基金積立の原資等は、水道料金に織り込んでいる資産維持費の一部。 ・毎年決算時に資産維持費の額及び基金への積立額を算定。 ・基金への積立額は決算の状況により変動する。 ・決算の認定と同時に剰余金処分(基金への積立等)の議決をとる。 ・議決後、基金への積立の処理を行う。						

2.事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出	項	基金造成費	目	基金造成費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	554,150	597,230	626,580		主な経費 (千円) 【R4 決算】	建設改良基金の積立		597,230
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	554,150	597,230	626,580					
決算 (千円)	事業費計	554,150	597,230			主な取組 内容 【R4】	健全な経営を維持し、基金への積立を行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	554,150	597,230						
人役	正規職員	0.0	0.0	0.0		特記 事項			
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	基金への積立額算定の 精査	目標	-	-	1	1	-		
		実績	1	1					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	当初予算のとおり、建設改良基金の積立を行うことができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	水道施設の更新に係る世代間の負担の公平を図るため、引き続き、基金への積立を適正に行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9836	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	濱田 裕良	

1.事業概要【Plan】

事業名 62231	(工水)建設改良基金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	7:その他	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地方分権社会を推進する		-	-	-	-	
施策	効率的な行財政運営の推進		-				
主な取組	健全な財政運営	根拠法令	松山市工業用水道事業建設改良基金条例				
取組みの柱	持続可能な財政運営の維持						
目的・背景	本市の基幹浄水場である垣生浄水場には、昭和30年代に建設された工業用水道施設が併設されており、近い将来全面的なリニューアルの時期を迎え、膨大な事業費が必要となるため基金を設置した。 水道施設の更新といった再投資は、膨大な事業費が必要となることから、基金を設置し、所要資金を積み立てていくことを目的としている。						
対象・内容	垣生浄水場工業用水道施設(着水井、ポンプ室、管理棟の築造、場内配管、送水ポンプ、機械設備)の更新のため、平成24年度からの15年間で、所要事業費の8割程度(約10億円)を基金へ積み立てる。 ・基金積立の原資等は、工業用水道料金に織り込んでいる資産維持費の一部。 ・毎年決算時に資産維持費の額及び基金への積立額を算定。 ・基金への積立額は決算の状況により変動する。 ・決算の認定と同時に剰余金処分(基金への積立等)の議決をとる。 ・議決後、基金への積立の処理を行う。						

2.事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出	項	基金造成費	目	基金造成費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	45,830	38,590	27,770		主な経費 (千円) 【R4 決算】	建設改良基金の積立		38,581
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	45,830	38,590	27,770					
決算 (千円)	事業費計	45,830	38,581			主な取組 内容 【R4】	健全な経営を維持し、基金への積立を行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	45,830	38,581						
人役	正規職員	0.0	0.0	0.0		特記 事項			
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	基金への積立額算定の 精査	目標	-	-	1	1	-		
		実績	1	1					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	概ね当初予算のとおり、建設改良基金の積立を行うことができたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	工業用水道施設のリニューアルに必要な事業費を確保するため、引き続き、基金への積立を適正に行う。		



令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9836	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	濱田 裕良	渡部 祐平

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(上水)事務系・その他電算	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。						
対象・内容	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等について、システムの維持管理や関連備用品の購入や修繕等を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用ほか	項	営業費用ほか	目	総係費ほか			
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】						
予算(千円)	事業費計	19,459	25,503	23,920			電算システムの維持管理	12,868				
	国費・県費							電算システムの開発委託	6,085			
	市債								電算関連備用品の購入・修繕等の経費	3,944		
	その他											
一般財源	19,459	25,503	23,920									
決算(千円)	事業費計	18,889	22,897			主な取組内容【R4】	・各システム等の維持管理 ・関連備用品の購入・修繕					
	国費・県費											
	市債											
	その他											
一般財源	18,889	22,897										
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記事項						
	その他											
	合計	0.6	0.6	0.6								

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	財務会計システム 中断回数	目標	-	-	0	0	-		
		実績	0	0					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり各システム等を適正に運用できたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	行政事務を迅速かつ効率的に行うため、引き続き、各システム等の適正な運用に努める。		



令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9836	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	濱田 裕良	渡部 祐平

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(簡水・中島)事務系・その他電算	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。						
対象・内容	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等について、システムの維持管理や関連備用品の購入や修繕等を行う。						

2. 事業実施【Do】

事業費/財源	会計	簡易水道事業会計		款	中島地区 簡易水道事業費用	項	営業費用	目	総係費				
		令和3年度	令和4年度							令和5年度			
予算 (千円)	事業費計	599	878	767	主な経費 (千円) 【R4 決算】	電算システムの維持管理			387				
	国費・県費									電算システムの開発委託	219		
	市債											電算関連備消耗品の購入・修繕等の経費	63
	その他												
	一般財源	599	878	767									
決算 (千円)	事業費計	565	669		主な取組 内容 【R4】	・各システム等の維持管理 ・関連備用品の購入・修繕							
	国費・県費												
	市債												
	その他												
	一般財源	565	669										
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1	特記 事項								
	その他												
	合計	0.1	0.1	0.1									

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	財務会計システム 中断回数	目標	-	-	0	0	-		
		実績	0	0					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり各システム等を適正に運用できたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	行政事務を迅速かつ効率的に行うため、引き続き、各システム等の適正な運用に努める。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9836	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	濱田 裕良	渡部 祐平

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(工水)事務系・その他電算	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他		-				
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。						
対象・内容	財務会計システム、公共事業積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器等について、システムの維持管理や関連備用品の購入や修繕等を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	総係費		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】			739		
予算(千円)	事業費計	1,246	1,651	1,596			電算システムの維持管理				
	国費・県費							電算システムの開発委託			
	市債									電算関連備消耗品の購入・修繕等の経費	
	その他										
	一般財源	1,246	1,651	1,596				187			
決算(千円)	事業費計	1,041	1,364			主な取組内容【R4】					
	国費・県費						・各システム等の維持管理 ・関連備用品の購入・修繕				
	市債										
	その他										
	一般財源	1,041	1,364								
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項					
	その他										
	合計	0.1	0.1	0.1							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	財務会計システム 中断回数	目標	-	-	0	0	-	
		実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり各システム等を適正に運用できたため。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	行政事務を迅速かつ効率的に行うため、引き続き、各システム等の適正な運用に努める。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財産管理担当	連絡先	998-9823	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	松本 和彦	担当	金岡 大介	林 泰男

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(上水)財産管理	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他		-				
主な取組	その他	根拠 法令	松山市公営企業局固定資産管理規程				
取組みの柱	その他						
目的・背景	公営企業局では莫大な量の水道施設や用地等を管理していることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保する必要がある。そのため、松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。						
対象・内容	固定資産として管理している水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理						

2.事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	水道事業費用	項	営業費用	目	減価償却費ほか		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	有形固定資産減価償却 費	3,658,531			
予算 (千円)	事業費計	3,666,620	3,829,953	3,902,753				主な 取組 内容 【R4】	有形固定資産の減価償却 無形固定資産の減価償却 その他財産管理	27,975	
	国費・県費									5,016	
	市債										
	その他										
決算 (千円)	事業費計	3,576,987	3,707,324								
	国費・県費										
	市債										
	その他										
人役	一般財源	3,666,620	3,829,953	3,902,753							
	正規職員	1.2	1.2	1.2		特記 事項					
	その他										
合計	1.2	1.2	1.2								

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	資産の減価償却等に係る 処理	目標	-	-	1	1	-	
		実績	-	1				
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり減価償却等を処理したことで、適切に財産管理ができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	固定資産の効果的な運用を図るため、引き続き、適切な財産管理を行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財産管理担当	連絡先	998-9823	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	松本 和彦	担当	金岡 大介	林 泰男

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(簡水・中島)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他		-				
主な取組	その他	根拠法令	松山市公営企業局固定資産管理規程				
取組みの柱	その他						
目的・背景	公営企業局では莫大な量の水道施設や用地等を管理していることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保する必要がある。そのため、松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。						
対象・内容	固定資産として管理している中島地区簡易水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理						

2.事業実施【Do】

事業費/財源	会計	簡易水道事業会計		中島地区 簡易水道事業費用	項	営業費用	目	減価償却費ほか
		令和3年度	令和4年度					
予算 (千円)	事業費計	117,784	112,962	119,279	主な経費 (千円) 【R4 決算】	有形固定資産減価償却費		112,343
	国費・県費					無形固定資産減価償却費		200
	市債					車両の購入・維持管理		371
	その他							
	一般財源	117,784	112,962	119,279				
決算 (千円)	事業費計	114,242	112,987		主な取組 内容 【R4】	有形固定資産の減価償却		
	国費・県費					無形固定資産の減価償却		
	市債					その他財産管理		
	その他							
	一般財源	114,242	112,987					
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2	特記 事項	令和4年度は当初の見込みよりも車両の修繕費が増加したため、決算額が予算額を上回っている。		
	その他							
	合計	0.2	0.2	0.2				

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	資産の減価償却等に係る 処理	目標	-	-	1	1		
		実績	-	1			-	
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり減価償却等を処理したことで、適切に財産管理ができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	固定資産の効果的な運用を図るため、引き続き、適切な財産管理を行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財産管理担当	連絡先	998-9823	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	松本 和彦	担当	金岡 大介	林 泰男

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(簡水・北条)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他		-				
主な取組	その他	根拠法令	松山市公営企業局固定資産管理規程				
取組みの柱	その他						
目的・背景	公営企業局では莫大な量の水道施設や用地等を管理していることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保する必要がある。そのため、松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。						
対象・内容	固定資産として管理している北条地区簡易水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理						

2.事業実施【Do】

事業費/財源	会計	簡易水道事業会計		北条地区 簡易水道事業費用	項	営業費用	目	減価償却費ほか
		令和3年度	令和4年度					
予算 (千円)	事業費計	2,750	2,828	2,914	主な経費 (千円) 【R4 決算】	有形固定資産減価償却費		2,726
	国費・県費					庁舎・財産管理		7
	市債					車両の購入・維持管理		296
	その他							
	一般財源	2,750	2,828	2,914				
決算 (千円)	事業費計	2,846	3,029		主な取組 内容 【R4】	有形固定資産の減価償却 その他財産管理		
	国費・県費							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,846	3,029					
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2	特記 事項	令和4年度は当初の見込みよりも車両の修繕費が増加したため、決算額が予算額を上回っている。		
	その他							
	合計	0.2	0.2	0.2				

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	資産の減価償却等に係る 処理	目標	-	-	1	1	-	
		実績	-	1				
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり減価償却等を処理したことで、適切に財産管理ができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	固定資産の効果的な運用を図るため、引き続き、適切な財産管理を行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財産管理担当	連絡先	998-9823	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	松本 和彦	担当	金岡 大介	林 泰男

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(工水)財産管理	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他		-				
主な取組	その他	根拠 法令	松山市公営企業局固定資産管理規程				
取組みの柱	その他						
目的・背景	公営企業局が管理している水道施設や用地等は莫大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保する必要がある。そのため、松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。						
対象・内容	固定資産として管理している工業用水道施設や用地等 公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理						

2.事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	減価償却費ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	154,966	154,748	162,647		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	有形固定資産減価償却費		149,419
	国費・県費						庁舎・財産管理		97
	市債						車両の購入・維持管理		713
	その他								
	一般財源	154,966	154,748	162,647					
決算 (千円)	事業費計	152,563	150,229			主な 取組 内容 【R4】	有形固定資産の減価償却		
	国費・県費						その他財産管理		
	市債								
	その他								
	一般財源	152,563	150,229						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	資産の減価償却等に係る 処理	目標	-	-	1	1		
		実績	-	1			-	
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり減価償却等を処理したことで、適切に財産管理ができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	固定資産の効果的な運用を図るため、引き続き、適切な財産管理を行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9846	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	佐伯 瞳	

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(上水)その他の支出(企業債の償還等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令	地方財政法第5条				
取組みの柱	その他						
目的・背景	水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として、地方財政法第5条に基づいて行った企業債の借入について、定期償還事務を行う。						
対象・内容	財務省や地方公共団体金融機構等から借り入れをした企業債について、9月と3月に定期償還を行う。						

2.事業実施【Do】

		会計	水道事業会計	款	資本的支出ほか	項	企業債償還金ほか	目	企業債償還金ほか	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	企業債の償還元金			
予算(千円)	事業費計	1,506,354	1,484,258	1,440,089			主な取組内容【R4】	1,025,264		
	国費・県費							固定資産除却費等		
	市債							246,757		
	その他					企業債の支払利息				
	一般財源	1,506,354	1,484,258	1,440,089			160,507			
決算(千円)	事業費計	1,400,397	1,432,528			特記事項	・企業債元金の償還			
	国費・県費						・企業債利息の支払			
	市債									
	その他									
	一般財源	1,400,397	1,432,528							
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3						
	その他									
	合計	0.3	0.3	0.3						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	定期償還の適正実施	目標	-	-	8	8	-	
		実績	8	8				
	現状維持	回	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおり企業債の定期償還を行えたため。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、企業債元金等の償還事務などを適正に行う。	



令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9828	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	高橋 誠也	

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(簡水・中島)その他の支出(企業債の償還等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令	地方財政法第5条				
取組みの柱	その他						
目的・背景	水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として、地方財政法第5条に基づいて行った企業債の借入について、定期償還事務を行う。						
対象・内容	財務省や地方公共団体金融機構等から借り入れをした企業債について、9月と3月に定期償還を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道資本的支出ほか	項	企業債償還金ほか	目	企業債償還金ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	企業債の償還元金		41,884
予算(千円)	事業費計	66,689	66,806	68,009			企業債の支払利息		7,091
	国費・県費						固定資産除却費等		1,463
	市債								
	その他								
	一般財源	66,689	66,806	68,009					
決算(千円)	事業費計	48,970	50,438			主な取組内容【R4】	・企業債元金の償還 ・企業債利息の支払		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	48,970	50,438						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期償還の適正実施	目標	-	-	6	6	-		
		実績	6	6					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり企業債の定期償還を行えたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、企業債元金等の償還事務などを適正に行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9846	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	佐伯 瞳	

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(簡水・北条)その他の支出(他会計借入金元金等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他		-				
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	北条簡水の施設更新・改良事業の財源として行った他会計(水道事業会計)からの長期借入について、定期償還事務を行う。						
対象・内容	他会計(水道事業会計)から借り入れをした他会計長期借入金について、9月と3月に定期償還を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道資本的支出ほか	項	長期借入金償還金ほか	目	他会計長期借入金償還金ほか
事業費/財源	令和3年度	令和4年度		令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	他会計借入金の償還元金	1,367	
	事業費計	4,450	3,499	3,470	他会計借入金の支払利息			86	
	国費・県費				固定資産除却費等			34	
	市債								
	その他								
一般財源	4,450	3,499	3,470						
決算(千円)	事業費計	1,466	1,487		主な取組内容【R4】	・他会計借入金元金の償還 ・他会計借入金利息の支払			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,466	1,487						
人役	正規職員	0.0	0.0	0.0	特記事項	予備費の充当がなかったため、執行率が低くなった。			
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期償還の適正実施	目標	-	-	2	2	-		
		実績	2	2					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり他会計長期借入金の定期償還を行えたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、他会計借入金元金等の償還事務などを適正に行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当G	財務担当	連絡先	998-9828	
部長等名	一色 芳朗	課等長名	黒田 憲	リーダー	萩山 慶志	担当	高橋 誠也	

1.事業概要【Plan】

事業名 69999	(工水)その他の支出(企業債の償還等)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他		-	-	-	-	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令	地方財政法第5条				
取組みの柱	その他						
目的・背景	水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として、地方財政法第5条に基づいて行った企業債の借入について、定期償還事務を行う。						
対象・内容	地方公共団体金融機構から借り入れをした企業債について、9月と3月に定期償還を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	工業用水道事業会計	款	資本的支出ほか	項	企業債償還金ほか	目	企業債償還金ほか
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	125,324	87,192	77,725		主な経費 (千円) 【R4 決算】	企業債の償還元金		37,310
	国費・県費						固定資産除却費等		40,951
	市債						企業債の支払利息		4,330
	その他								
	一般財源	125,324	87,192	77,725					
決算 (千円)	事業費計	41,275	82,591			主な取組 内容 【R4】	・企業債元金の償還 ・企業債利息の支払		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	41,275	82,591						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	定期償還の適正実施	目標	-	-	2	2	-		
		実績	2	2					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり企業債の定期償還を行えたため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、企業債元金等の償還事務などを適正に行う。		